

# 謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。皆様とともに輝かしい新年を迎えることができます。心からお慶び申し上げます。昨年は4月から、2期目の市政の舵取りをさせていただいており、最大の課題である中心市街地の賑わい復活を足掛かりに、各地域の特徴を活かした「まちづくり」に取り組みしております。

その核として進めております（仮称）生涯学習交流施設は、まもなく実施設計も完成し、平成26年度中には建設着工の予定であります。市民の皆様のご意見も取り入れながら、喜んで利用していただけるような愛着の持てる施設づくりを目指してまいります。

さて、昨年は3年連続となる豪雪や度重なる豪雨、さらには9月の台風18号と災害対応に追われる1年でありましたが、運送会社や石油会社さらには金融機関や郵便局のご協力のもと、災害や高齢者の見守りに関する協定を締結させていただきました。今後も、各地区の自主防災組織の立上げへの支援と併せて、安全安心な市民生活の確保を目指してまいります。

また、12月には市内で初のメガソーラー施設が誕生いたしました。市有地の有効活用のご好例として大いに喜ばしいものであり、再生可能エネルギーの普及啓発の観点からも引き続き取り組んでまいります。

本年は、1月23日に第9回全国どぶろく研究大会、10月には第29回国民文化祭・あきた2014が開催されます。阿仁熊牧場にも昨年12月に八幡平クマ牧場のヒグマが移送され、春にはリニューアルオープンが予定されていることから、全国からたくさんの方々をお迎えすることとなります。また、世界遺産登録を目指すこととなります。また、世界遺産登録を目指す伊勢堂岱遺跡でも（仮称）ガイダンス施設の建設も着工されるほか、まるごと森吉山プロジェクトや日浴道の鷹巣大館道路、ニツ井今泉道路、鷹巣西道路の事業も順調に進んでおり、この地域に賑わいを取り戻すための下地が整ってきております。

少子高齢化の進行をはじめ、消費税増税やコメの減反廃止などをはじめとする農政の政策転換など、私たちを取り巻く状況は厳しくなることが予想されますが、様々な仕掛けを行うことで、皆様が元気に生き活きと暮らせるような「まち」を一緒に作り上げてまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとりましても多い一年となりますことを心からご祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

平成二十六年 元旦

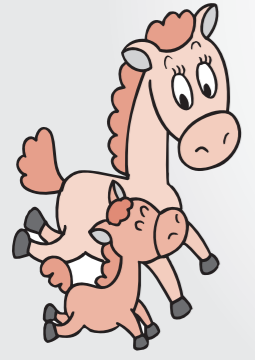
北秋田市長 津谷永光

## 今年は何年

**午** 年は十二支の7番目の南をあらわし、昔の時刻の名として使われてきました。

例えば、子午線は北を示す子と南を示す午に由来します。また、午の刻は、昼の12時及びその後2時間を示すため、昼の12時を「正午」といい、「午前」「午後」という言葉が生まれました。庶民に十二支を浸透させるため、「午」に、わかりやすい動物の「馬」を当てたとされていますが、その理由は定かではありません。

馬は、古くから軍用や運搬、農耕に使われ、乗馬や競馬、食用としても飼育されるなど人間との関わりが深かったことから、馬にちなんだことわざや格言も多くあります。「人間万事塞翁が馬」は、人生における不幸は予測しがたいということ。幸せが不幸に、不幸が幸せにいつ転じるかわからないのだから、安易に喜んだり悲しんだりする



べきではないという例え。「馬には乗ってみよ、人には添ってみよ」は、馬の善し悪しは乗ってみないとわからないし、人の善し悪しは親しく付き合ってみないとわからない。何事も経験してみないと本当のところはわからないということ。また、人間の願い事にも関係がある絵馬は、奈良時代からまでさかのぼります。神さまに神馬と呼ばれる馬を奉納していましたが、馬は高価で、飼育が大変であったことから、次第に絵に描いた馬を奉納するようになっていったと言われています。

今年は何年にあやかり、天馬のごとく大きく飛躍する年でありますように、と絵馬に願いを込めて。

## 平成26年の主な行事予定

- 1月1日 元旦マラソン／元旦倉ノ山登山
- 2日 大太鼓叩き初め
- 11日 森吉山樹氷観賞（～3月9日）
- 23日 全国どぶろく研究大会（～24日）
- 26日 市民スキー大会
- 2月8日 もちっこ市（～9日）
- 3月21日 万灯火
- 4月下旬 熊牧場オープン／鷹巣中央公園桜まつり（～5月上旬）
- 5月3日 森吉山山開き
- 6月1日 竜ヶ森山開き／太平湖湖水開き
- 8日 ふるさと踊りと餅っこまつり
- 7月上旬 阿仁スキー場ゴンドラ運行（～10月下旬）
- 7月上旬 米代川花火大会
- 14日 八幡宮綴子神社例大祭（～15日）
- 8月7日 森吉山麓たなばた火まつり
- 14日 合川ふるさとまつり・まと火／根子番楽／市民盆踊り大会
- 15日 成人式
- 16日 阿仁の花火と灯籠流し
- 9月上旬 民俗芸能大会
- 14日 縄文まつり／空港スカイフェスタ
- 10月4日 たかのす太鼓まつり
- 10月4日 100キロチャレンジマラソン
- 10日 内陸線アート（～11月3日）
- 10日 チェンソーアートフェスティバル（～13日）
- 25日 現代詩フェスティバル（～26日）
- 11月上旬 産業祭
- 11月上旬 浜辺の歌音楽祭／文化祭



▲国民文化祭のイベントとして行われた「東北チェンソーアート競技大会」。今年はチェンソーアートフェスティバルが開かれます。



▲国民文化祭のイベントとして行われた「根子フットバス」。今年も内陸線アートの一環で開催されます。